

## 令和2年度 学カスタンダード指導計画・報告書

教科：(理科)科目：(生物基礎) 対象：(第2学年 1組～6組)

教科・科目の 指導目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。</li> <li>・日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象への関心を高める。</li> <li>・生物学的に探究する能力と態度を育てる。</li> </ul>
----------------	--

	高校入試等の分析結果	分析結果を踏まえて検討した指導内容	指導体制の確立
年度当初	1.生徒が身の回りの自然環境を意識することが少ない。 2.観察し考えるということをしていないようである。 3.じっくり見るということもできていないようである。 4.生物現象と分子レベルの事柄が生徒には同じことなのかもしれない。 ※本校では学力検査による入試を実施していないため、昨年度の授業中の生徒観察から判断した。	1.生徒に身近な自然現象、生物に限定せず地学、物理、化学の領域も含め、テーマとする。たとえば、暑い日があれば、暑いとはなにか、湿度とはなにか、生物はどう対応するのかなどをひとつずつ説明し理解できるようにしたい。そのような中から、自分で自然、生物に関心がむくように指導したい。	1.いろいろな事象に目を向け、生徒の関心がある内容を精査、指導内容の検討をして授業に展開する。 2.日々の研修のみでなく、今何が起きているかの情報収集、参考資料、提示できる資料の検討を行うこと。

	生徒の変容	生徒の学力の定着状況	次年度に向けた指導体制の改善
年度末			